

長崎県の漁業



長崎県は、漁獲金額2位だが
魚種の豊富さ全国1位!!

長崎の海4つの特徴

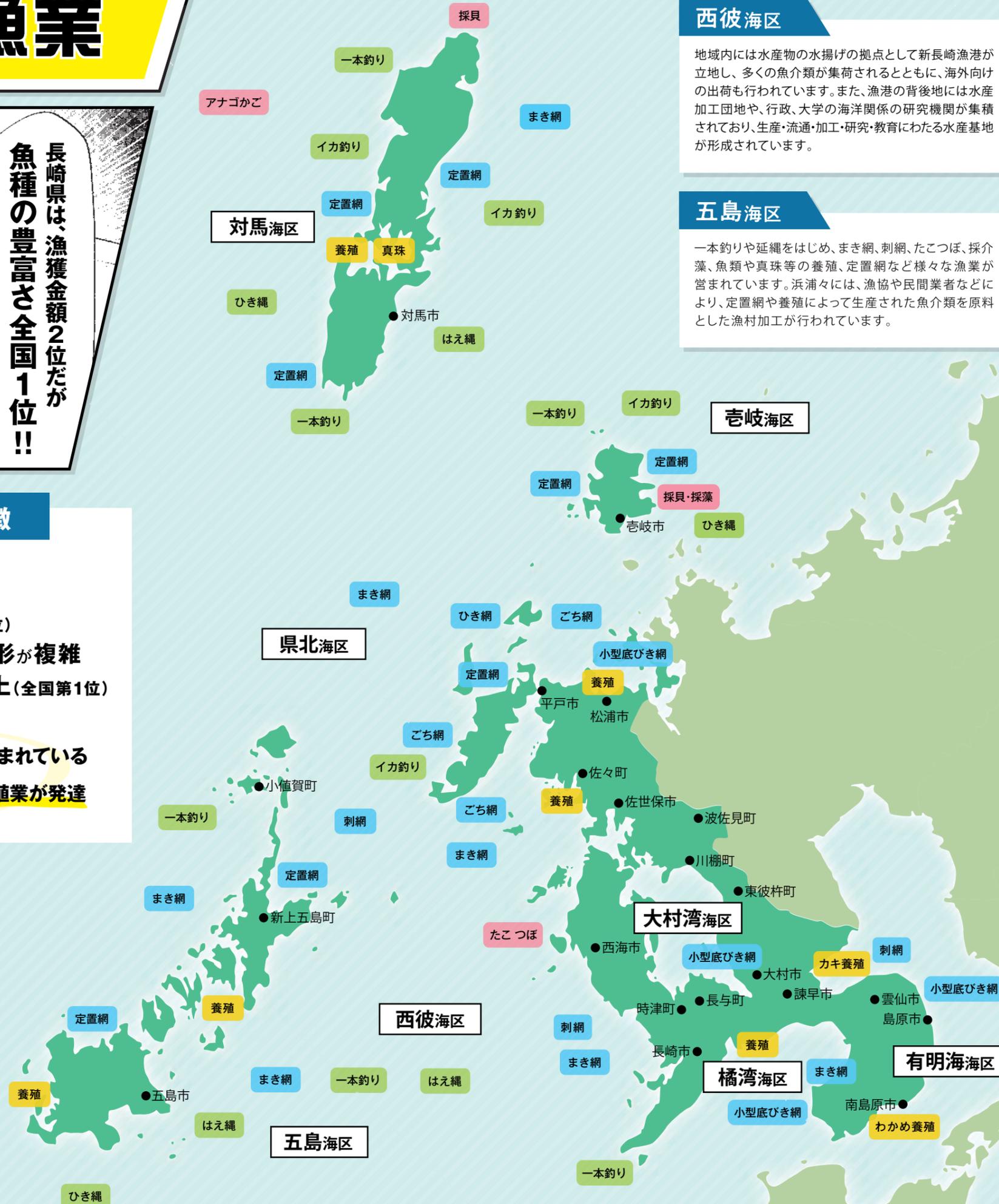
- ☑ 広大な大陸棚がある東シナ海と対馬海峡(対馬暖流の流れ込み)
- ☑ 海岸線の長さは**4,184km**(全国第2位)
- ☑ 数多くの島や半島、**海岸線**や**海底地形**が複雑
- ☑ 四季折々に来遊する魚種は**250種以上**(全国第1位)

多くの魚介類に恵まれ、様々な漁業が営まれている
多くの湾や入江を利用し、魚や真珠の養殖業が発達

ブランド魚も豊富だね!

漁法 MAP の色分け

- 釣漁業
- 網漁業
- 養殖
- その他



西彼海区

地域内には水産物の水揚げの拠点として新長崎漁港が立地し、多くの魚介類が集荷されるとともに、海外向けの出荷も行われています。また、漁港の背後地には水産加工団地や、行政、大学の海洋関係の研究機関が集積されており、生産・流通・加工・研究・教育にわたる水産基地が形成されています。

五島海区

一本釣りや延縄をはじめ、まき網、刺網、たこつぼ、採介藻、魚類や真珠等の養殖、定置網など様々な漁業が営まれています。浜浦々には、漁協や民間業者などにより、定置網や養殖によって生産された魚介類を原料とした漁村加工が行われています。

対馬海区

周辺には海谷、海盆や岩礁が多くあり、対馬暖流と大陸沿岸水が交錯し、好漁場が形成されているためイカ類、ブリ類、タイ類、ヨコワ(クロマグロの幼魚)、マアジ、サバ類等の回遊性魚類のほか、アワビ類、サザエ、ウニ類、ヒジキやカジメ類等の豊かな磯根資源に恵まれています。森林が多く耕地面積も少ないことから水産業が発展し、イカ釣り漁業、曳縄漁業、延縄漁業、一本釣り漁業などの釣漁業やアナゴカゴ漁業のほか定置網漁業や採介藻漁業、豊富な入江を活かしたクロマグロ養殖業や真珠養殖業が営まれています。

壱岐海区

沿岸の浅海域は、起伏に富む岩礁地帯が張り出し、ウニ類やアワビ類などの磯根資源が豊富です。島内漁業は、イカ釣り漁業、釣り漁業を主体として、その他、採介藻漁業、定置網漁業が行われるとともに、島東部及び南部の静穏域では、魚類、真珠、カキ類の養殖が行われています。

県北海区

イワシ類、アジ類、サバ類、ブリ類、イカ等の回遊がみられるほか、マダイ、ヒラメ、イサキや磯根資源のアワビ、ウニ類等数多くの魚介類に恵まれています。また、複雑な海岸地形の湾や入り江では、魚類や真珠などの養殖業も営まれ、内湾から沖合まで漁場環境を活かした多種多様な漁業が営まれています。

大村湾海区

湾内では、小型底びき網、刺網、延縄、かご、採介藻等の漁業が営まれ、ブリ類やマダイ等の魚類養殖やカキや真珠の貝類養殖が行われています。

橘湾海区

湾域は対馬暖流の影響を受け、主にカタクチイワシ、マアジ、サバ類、タチウオ、エビ類、イカ類が漁獲され、サザエ、ウニ類等の磯根資源にも恵まれ、中・小型まき網のほか小型底びき網、刺網、はえ縄等の漁業が営まれています。また、静穏域では、トラフグ、ハマチ(ブリ)、マダイ等の魚類養殖、カキの養殖が営まれています。

有明海海区

潮汐による干満の差が大きく、干潮時には湾奥部の佐賀県、福岡県および熊本県側に広大な干潟が形成されています。二枚貝を始め、大型底棲生物が豊富に分布することにより海域全体の浄化能力は本来高く、また、広大で肥沃な浅海域を有することから、漁場として利用されるだけでなく、海域全体がヒラメ類、カレイ類、フグ類、ガザミ類、エビ類、貝類等多くの重要水産資源の産卵場や幼稚仔の育成場となっています。